

役員 2021年7月1日現在

■取締役

取締役 会長 丹呉 泰健
 取締役 副会長 岩井 睦雄
 代表取締役 社長 寺島 正道
 代表取締役 副社長 見浪 直博
 代表取締役 副社長 廣渡 清栄
 取締役 山下 和人
 取締役 幸田 真音*
 取締役 長嶋由紀子*
 取締役 木寺 昌人*

*取締役 幸田 真音、長嶋 由紀子および木寺 昌人は、会社法第2条第15号に定める社外取締役です

■監査役

常勤監査役 永田 亮子
 常勤監査役 山本 博
 常勤監査役 三村 亨*
 監査役 大林 宏*
 監査役 吉國 浩二*

*常勤監査役 三村 亨、監査役 大林 宏および吉國 浩二は、会社法第2条第16号に定める社外監査役です

■執行役員

社長 (最高経営責任者、たばこ事業本部長)
 副社長 (最高財務責任者、コミュニケーション担当)
 副社長 (コーポレート・医薬事業・食品事業担当)
 専務執行役員 (コンプライアンス・サステナビリティマネジメント・総務担当)
 専務執行役員 (たばこ事業本部 国内たばこ事業CEO、事業企画担当)
 常務執行役員 (たばこ事業本部 国内たばこ事業CFO)
 常務執行役員 (たばこ事業本部 セールス担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 渉外担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 原料担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 RRPジャパンオフィスヘッド)
 執行役員 (たばこ事業本部 マーケティング担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 R&D担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 製造担当)
 執行役員 (たばこ事業本部 中国事業部長)
 執行役員 (たばこ事業本部 品質保証担当)
 執行役員 (医薬事業部長)
 執行役員 (医薬事業部 医薬総合研究所長)
 執行役員 (食品事業担当)
 執行役員 (企画担当)
 執行役員 (デジタルイノベーション担当)
 執行役員 (総務担当)
 執行役員 (人事担当)
 執行役員 (コミュニケーション担当)
 執行役員 (法務担当)
 執行役員 (サステナビリティマネジメント担当)

寺島 正道
 見浪 直博
 廣渡 清栄
 山下 和人
 福地 淳一
 前田 勇気
 清川 栄一
 小倉 健資
 小川 千種
 中島 康裕
 廣末 秀一
 三木 啓介
 小柳 明弘
 小口 徹
 土方 徹
 藤本 宗明
 大川 滋紀
 古川 博政
 中野 恵
 柴山 武久
 菊池 孝徳
 森 功一
 福田 浩之
 廣瀬 修
 妹川 久人

株主・投資家の皆様へ
業績報告書

vol.67



株価の推移 1994年10月27日上場～2021年7月 当社株価（東証終値、月間）



*2006年4月1日を効力発生日として1株につき5株の割合、また、2012年7月1日を効力発生日として1株につき200株の割合で株式分割を実施しました。株価は調整後株価を示しています

日本たばこ産業株式会社

〒105-6927 東京都港区虎ノ門4-1-1
 TEL 03-6636-2914 <https://www.jti.co.jp/>

2021年度 第2四半期決算報告

JT NEWS

ひとの
 ときを、
 想う。 JT

上期の力強い実績を反映し、通期業績見込を「プルーム・エックス」を通じたシェア拡大に

上方修正 注力してまいります

代表取締役社長

寺島正道



はじめに、新型コロナウイルス感染症の影響や、自然災害の被害を受けられた全ての方々に心よりお見舞いを申し上げます。

2021年度 第2四半期実績 (2021年1-6月)

2021年上期、全社利益指標である為替一定ベース調整後営業利益、すなわち為替影響や特殊要因を除いた営業利益は、海外たばこ事業の力強い実績により、対前年同期で26.9%増と高い水準の増加となりました。また、為替影響を含む財務報告ベースの調整後営業利益につきましては、トップライン成長に加え、ネガティブな為替影響が限定的となったこともあり、対前年同期で24.5%の増加となりました。

国内たばこ事業：昨年10月の定価改定による紙巻たばこの単価上昇効果とRRP*販売数量の増加が、紙巻販売数量の減少を上回り、対前年同期で増収となりました。トップ

ラインの増加に加え、下期に集中的な執行を予定している販促費の水準が、上期は相対的に低いことから増益となりました。

海外たばこ事業：一部の市場において総需要が堅調に推移したことや、各国におけるシェアの増加が継続したことにより、為替一定ベース、為替影響を含めた財務報告ベース共に対前年同期で増収増益となりました。

医薬事業：売上収益は、海外ロイヤリティ収入の減少があったものの、当社の連結子会社である鳥居薬品の増収により、対前年同期で同水準となりました。調整後営業利益は、導入品の開発中止による除却損の計上および鳥居薬品の減益により減益となりました。

加工食品事業：家庭用製品が好調に推移し、外食向け製品も徐々に回復基調にあるものの、コロナ禍の影響により家庭用製品の需要が一時的に高まっていた前年同期との比較では、減収となりました。調整後営業利益は、販管費の低減により増益となりました。

次世代グローバルモデルの加熱式たばこ

「プルーム・エックス」の発売

2021年7月に、Heated tobacco sticks（高温加熱型の加熱式たばこ）の最大市場である日本において、次世代の加熱式たばこデバイス「プルーム・エックス」を発売しました。「プルーム・エックス」は、世界中のお客様のご要望にお応えべく、味わいや吸いごたえの進化はもちろんのこと、デザインや操作性についても改善した、JTグループ初のグローバルモデルです。まずは、国内でのシェア拡大に

注力し、グローバル展開についても着実に進めてまいります。

2021年度 業績見込

海外たばこ事業の貢献による力強い上期実績を反映し、売上収益、調整後営業利益、営業利益、当期利益のいずれも、当初見込よりも上方修正しています。為替一定ベースの調整後営業利益は、100億円上方修正し、前年度比7.2%増の5,220億円を見込んでいます。

国内たばこ事業：自社たばこ製品売上収益は、紙巻たばこの低価格帯での競争激化、RRP*製品への移行に伴う紙巻販売数量の減少、免税ビジネスにおけるコロナ禍影響の長期化を背景に、当初見込から100億円下方修正し、前年度比1.1%減の5,100億円を見込んでおります。調整後営業利益は、必要な投資は実施しつつ、優先順位に基づく効率的な経費執行により、前年度比4.7%増の1,760億円という当初見込の達成を目指してまいります。

海外たばこ事業：為替一定ドルベースでは、自社たばこ製品売上収益、調整後営業利益ともに、上期の実績が好調であったことから、当初見込よりそれぞれ250百万米ドル、100百万米ドル上方修正しています。財務報告円ベースでは、為替前提の見直しはポジティブに作用したことなどもあり、当初見込よりそれぞれ1,300億円、450億円上方修正し、前年度比で8.7%増の13,600億円、10.6%増の3,770億円を見込んでいます。

医薬事業：売上収益は、海外ロイヤリティ収入の増加を織り込み、5億円上方修正するものの、前年度比2.5%減の770億円を見込んでいます。調整後営業利益は、売上収益を

上方修正するものの、導入品開発中止による除却損を計上したため、当初見込から変更せず、前年度比59.2%減の70億円を見込んでおります。

加工食品事業：売上収益は、緊急事態宣言などの影響を受け、家庭用製品の伸長を見込む一方、外食向け製品およびベーカリー事業における販売の回復が想定よりも緩やかになると見ており、10億円下方修正するものの、前年度比0.4%増の1,500億円を見込んでおります。調整後営業利益は、製品の販売構成の改善などに取り組み、当初見込同様30億円の達成を目指してまいります。

なお、2021年度の1株当たり年間配当金予想は、当初お示した130円から変更なく、中間配当金は65円をお支払いいたします。

2021年度上期は、コロナ禍の影響が継続する中でも、力強い実績となりました。不確実性の高い事業環境は継続しているものの、今回お示した修正見込の達成を目指すとともに、2022年度に控えたたばこ事業一本化や日本市場の競争力強化などの施策を着実に進めてまいります。

* RRP：(Reduced-Risk Products)加熱式たばこおよびE-Vapor製品等の喫煙に伴う健康リスクを低減させる可能性のある製品。加熱式たばこは、たばこ葉を使用し、たばこ葉を燃焼させずに、加熱等によって発生するたばこペーパー(たばこ葉由来の成分を含む蒸気)を愉しむ製品であり、E-Vapor製品は、たばこ葉を使用せず、装置内もしくは専用カートリッジ内のリキッド(液体)を電気加熱させ、発生するペーパー(蒸気)を愉しむ製品

2021年度 第2四半期決算 全社実績

	2020年1-6月	2021年1-6月	対前年同期増減率
為替一定ベース			
調整後営業利益※1	2,876	3,651	+26.9%
財務報告ベース			
売上収益	10,302	11,445	+11.1%
調整後営業利益※2	2,876	3,582	+24.5%
営業利益	2,520	3,221	+27.8%
四半期利益/当期利益※3	1,725	2,252	+30.5%

※1 海外たばこ事業における当期の調整後営業利益を前年同期の現地通貨対ドル、ドル対円の為替レートをを用いて換算/算出することにより、為替影響を除いた指標

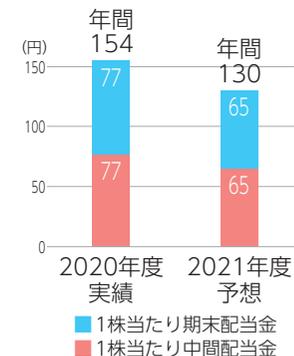
※3 親会社の所有者に帰属する四半期利益/当期利益

※2 調整後営業利益=営業利益+買収に伴い生じた無形資産に係る償却費+調整項目(収益及び費用)*
*調整項目(収益及び費用)= のれんの減損損失±ストラクチャリング収益及び費用等

2021年度 全社見込

(単位: 億円)			
2021年度当初見込	修正見込	対当初見込増減	対前年度増減率
5,120	5,220	+100	+7.2%
20,800	22,000	+1,200	+5.1%
4,750	5,170	+420	+6.2%
3,630	4,020	+390	-14.3%
2,400	2,720	+320	-12.3%

1株当たり配当金



国内たばこ事業 今期のポイント

- JT紙巻販売数量は、すう勢減、RRP市場の拡大によるRRP製品への移行、定価改定、紙巻シェアの減少影響により減少
- 紙巻販売数量の減少を、紙巻単価効果およびRRP関連売上収益の増加が上回ったことに加え、販促費の減少により増収増益

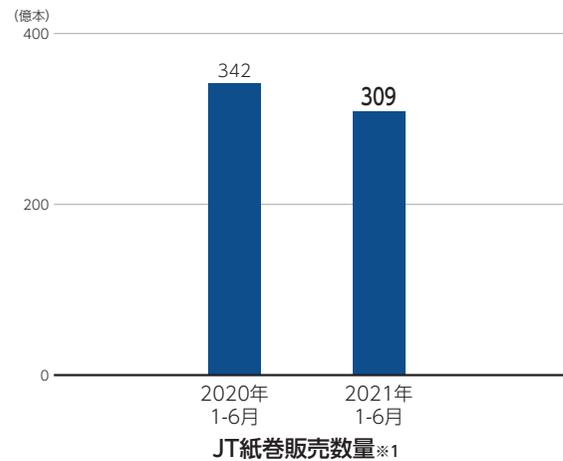
業績サマリー

JT紙巻販売数量	前年同期比
309億本	-33億本↓ -9.5%↓
自社たばこ製品売上収益	前年同期比
2,564億円	+75億円↑ +3.0%↑
調整後営業利益	前年同期比
1,013億円	+195億円↑ +23.8%↑

JT紙巻シェア/注カブランドシェア

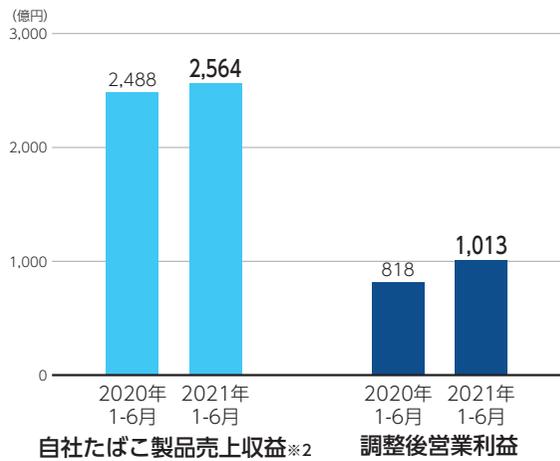
	2020年 1-6月	2021年 1-6月	増減%pt
JT	59.9%	59.5%	-0.4%pt
MEVIUS	28.9%	27.5%	-1.4%pt
Winston	7.3%	7.1%	-0.2%pt
SevenStars	7.5%	7.3%	-0.2%pt
AMERICAN SPIRIT	2.0%	2.1%	+0.1%pt

販売数量実績



※1 紙巻たばこの販売数量・シェアにリトルシガー（たばこ葉を原料とする巻紙を使い、紙巻たばこと同様の形態に巻き上げた製品）を含む。なお、販売数量は、国内免税販売/中国事業/RRP等を含まない

財務実績



※2 輸入たばこ配送手数料収益等を除き、国内免税販売/中国事業/RRP/リトルシガー関連の売上を含む

海外たばこ事業 今期のポイント

- 総販売数量は、複数の市場において内需が拡大したことおよびシェアの伸長により増加
- 為替のネガティブな影響は受けたものの、単価効果・商品構成影響および総販売数量の増加により増収増益

業績サマリー

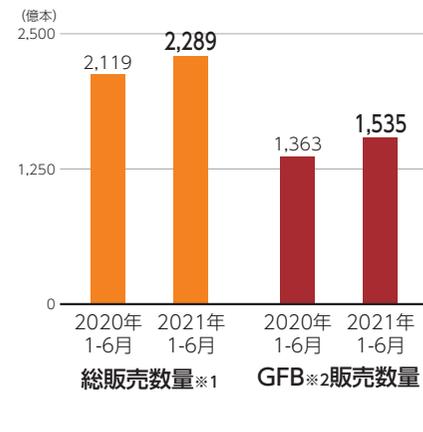
総販売数量	前年同期比	自社たばこ製品売上収益 為替一定ベース/ドルベース	前年同期比
2,289億本	+169億本↑ +8.0%↑	6,623百万ドル	+839百万ドル↑ +14.5%↑
GFB販売数量	前年同期比	調整後営業利益 為替一定ベース/ドルベース	前年同期比
1,535億本	+172億本↑ +12.6%↑	2,560百万ドル	+579百万ドル↑ +29.2%↑

主要市場シェア (12ヵ月移動平均)

	2020年 6月	2021年 6月	増減%pt
フランス	25.2%	28.4%	+3.2%pt
イタリア	24.9%	26.2%	+1.3%pt
ロシア**	37.2%	36.4%*	-0.8%pt
スペイン	26.0%	27.4%	+1.4%pt
台湾	46.5%	48.2%	+1.7%pt
トルコ	26.8%	27.0%*	+0.3%pt
英国	44.4%	45.4%*	+1.1%pt

Source: IRI, Nielsen, Logista, Panel Strator / 出典の過去データ修正も反映
*2021年5月時点の、12ヵ月移動平均を採用
**2021年より、ロシアにおける市場シェアは、紙巻きたばこ及びheated tobacco sticksを含む。これに伴い、2020年データについても変更

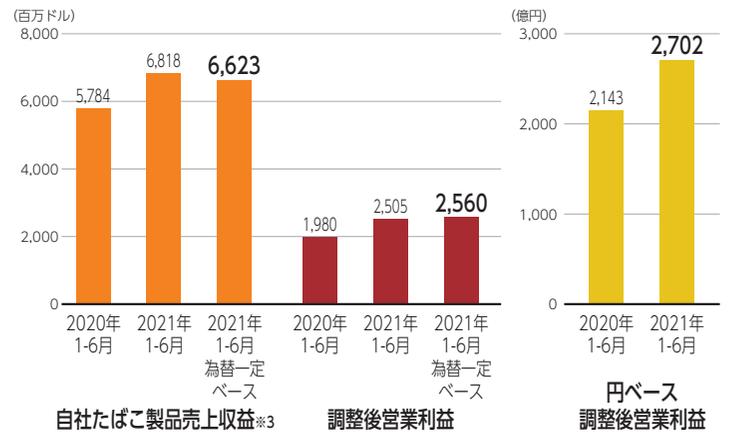
販売数量実績



※1 水たばこ/E-Vapor製品/製造受託を除き、Fine Cut/Cigar/Pipe/Snus/Kretek/加熱式たばこを含む

※2 グローバル・フラッグシップ・ブランド。当社グループのブランドポートフォリオの中核を担う「ウィンストン」「キャメル」「メビウス」「ILD」の4ブランドを指す

財務実績

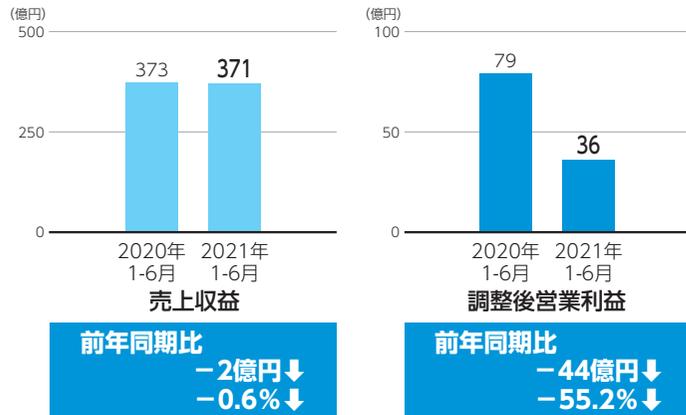


※3 物流事業/製造受託等を除き、水たばこ/RRPの売上を含む

医薬事業

- 今期のポイント**
- 売上収益は、海外ロイヤリティ収入の減少を鳥居薬品の増収が相殺し、前年同期比で同水準
 - 調整後営業利益は、導入品開発中止による除却損の計上および鳥居薬品の減益により減益

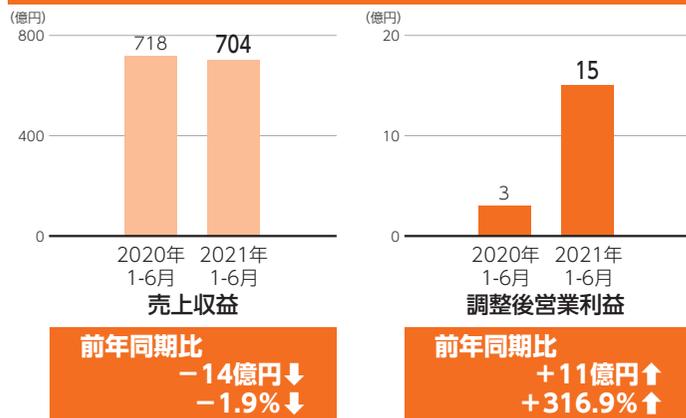
財務実績



加工食品事業

- 今期のポイント**
- 売上収益は、前年同期に一時的に高まっていた家庭用製品の需要が相対的に減少したため減収
 - 調整後営業利益は、ペーカリー事業における販管費の低減により増益

財務実績



将来に関する記述等についてのご注意

本資料には、当社又は当社グループの業績に関連して将来に関する記述を含んでおります。かかる将来に関する記述は、「考えています」「見込んでいます」「予想しています」「予見しています」「計画」「戦略」「可能性」等の語句や、将来の事業活動、業績、事象又は条件を表す同様の語句を含むことがあります。将来に関する記述は、現在入手できる情報に基づく経営者の判断、予測、期待、計画、認識、評価等を基礎として記載されているに過ぎません。これらの記述ないし事実又は前提(仮定)については、その性質上、客観的に正確であるという保証も将来その通りに実現するという保証もなく、当社としてその実現を約束する趣旨のものでもありません。また、かかる将来に関する記述は、さまざまリスクや不確実性に晒されており、実際の業績は、将来に関する記述における見込みと大きく異なる場合があります。その内、現時点で想定される主なものとして、以下のような事項を挙げることができます(なお、かかるリスクや要因はこれらの事項に限られるものではありません)。

- ①喫煙に関する健康上の懸念の増大
- ②たばこに関する国内外の法令規則による規制等の導入・変更(増税、たばこ製品の販売、国産葉たばこの買入れ義務、包装、ラベル、マーケティング及び使用に関する政府の規制等)、喫煙に関する民間規制及び政府による調査の影響等
- ③国内外の訴訟の動向
- ④国内たばこ事業、海外たばこ事業以外へ多角化する当社の能力
- ⑤国際的な事業拡大と、日本国外への投資を成功させる当社の能力
- ⑥市場における他社との競争激化、お客様の嗜好・行動の変化及び需要の減少
- ⑦買収やビジネスの多角化に伴う影響
- ⑧国内外の経済状況
- ⑨為替変動及び原材料費の変動
- ⑩自然災害及び不測の事態等

2021年度 第2四半期連結財務諸表

(注)記載金額は、百万円未満を四捨五入して表示しております

連結財政状態計算書

(単位:百万円)

科目	2020年 12月末	2021年 6月末	増減金額
資産			
流動資産	2,003,919	2,059,199	55,280
非流動資産	3,377,464	3,479,686	102,223
有形固定資産	759,290	763,185	3,895
のれん	1,909,392	2,028,153	118,761
無形資産	363,604	345,895	△17,709
投資不動産	4,744	4,061	△683
退職給付に係る資産	70,528	77,451	6,923
持分法で会計処理されている投資	40,230	44,246	4,016
その他の金融資産	107,143	103,425	△3,718
繰延税金資産	122,534	113,271	△9,262
資産合計	5,381,382	5,538,885	157,503

(単位:百万円)

科目	2020年 12月末	2021年 6月末	増減金額
負債及び資本			
負債			
流動負債	1,323,793	1,201,112	△122,681
非流動負債	1,458,095	1,474,935	16,840
負債合計	2,781,888	2,676,047	△105,841
資本			
親会社の所有者に帰属する持分	2,522,834	2,786,090	263,255
資本金	100,000	100,000	—
資本剰余金	736,400	736,400	—
自己株式	△491,507	△490,909	598
その他の資本の構成要素	△605,776	△443,152	162,623
利益剰余金	2,783,718	2,883,751	100,034
非支配持分	76,660	76,749	89
資本合計	2,599,495	2,862,838	263,344
負債及び資本合計	5,381,382	5,538,885	157,503

連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	2020年 1-6月	2021年 1-6月	増減金額
売上収益	1,030,218	1,144,539	114,321
売上原価	△436,451	△455,423	△18,972
売上総利益	593,767	689,116	95,349
その他の営業収益	4,005	5,321	1,316
持分法による投資利益	1,613	1,651	38
販売費及び一般管理費等	△347,396	△374,004	△26,608
調整後営業利益※	287,634	358,223	70,589
営業利益	251,989	322,084	70,095
金融収益	3,739	6,915	3,176
金融費用	△29,766	△14,904	14,863
税引前四半期利益	225,961	314,095	88,134
法人所得税費用	△52,607	△88,155	△35,549
四半期利益	173,354	225,940	52,586
四半期利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期利益	172,495	225,190	52,695
非支配持分に帰属する四半期利益	859	750	△109
四半期利益	173,354	225,940	52,586

※調整後営業利益＝営業利益＋買収に伴い生じた無形資産に係る償却費＋調整項目(収益及び費用)*

*調整項目(収益及び費用)＝のれんの減損損失±ストラクチャリング収益及び費用等

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

科目	2020年 1-6月	2021年 1-6月	増減金額
四半期利益	173,354	225,940	52,586
税引後その他の包括利益	△155,009	174,949	329,958
四半期包括利益	18,345	400,888	382,544
四半期包括利益の帰属			
親会社の所有者に帰属する四半期包括利益	17,987	399,788	381,802
非支配持分に帰属する四半期包括利益	358	1,100	742
四半期包括利益	18,345	400,888	382,544

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	2020年 1-6月	2021年 1-6月	増減金額
営業活動によるキャッシュ・フロー	126,634	174,872	48,238
投資活動によるキャッシュ・フロー	△27,883	△46,459	△18,576
財務活動によるキャッシュ・フロー	△24,978	△212,681	△187,704
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	73,773	△84,268	△158,041
現金及び現金同等物の期首残高	357,158	538,844	181,686
現金及び現金同等物に係る為替変動による影響	△23,191	26,130	49,321
現金及び現金同等物の四半期末残高	407,740	480,706	72,966

JT NEWS

加工食品新商品紹介

JTグループ商品のご紹介

お皿がいらない 麻婆ませそば

レンジ調理 1食入 309g



トウバンジャン、トウチジャン、テンメンジャン、ヨウミアブラ、豆板醤、豆鼓醬、甜麵醬、香味油などを使用して作った旨辛の麻婆豆腐と、テーブルマークの製麺技術を活かしたもちもち食感のラーメンを組み合わせた麻婆ませそばです。ソースの飛びはねを抑えるため、麺の長さをこれまでの同シリーズに比べ、2割程度短くしています。



鍋焼えび天うどん

鍋調理 1食入 297g

プリッとした花咲衣の「えび天ぶら」が自慢の鍋焼えび天うどんです。さば節、かつお節、昆布、煮干しなどで丁寧にだしをとり、旨みを効かせたつゆを使用しています。



ふっくらつや炊き(分割) 8食

レンジ調理 熱湯調理 150g×8食

米どころ魚沼の自然に育まれた水で外はふっくら、中はもっちり炊きあげました。おいしさの秘訣は「加圧加熱」と「蒸気炊飯」の二段階加熱です。

次世代グローバルモデルの加熱式たばこ 「プルーム・エックス」が新登場



JTは、高温加熱型の加熱式たばこ用デバイス「プルーム・エックス」を、2021年8月17日より順次、全国のコンビニエンスストアおよびたばこ販売店等にて発売しました。また、7月26日よりCLUB JT オンラインショップにて、8月3日より全国のPloom Shopにて先行発売しています。

「プルーム・エックス」は、JTが最重要カテゴリーと位置づけて経営資源を優先的に投入する、高温加熱型の加熱式たばこ用デバイスです。JTグループの総力を結集し開発した、次世代のグローバル共通モデルとして、このたび世界に先駆けて日本市場で発売となりました。

「プルーム・エックス」の特長

“Nastro” デザインが生み出す スマートで心地よい操作性

イタリア語でリボンを意味する“Nastro”。デバイスの表面にボタンを出さないデザインで、リボンのように切れ目がない、なめらかで上質なアルミボディが特徴。LEDとバイブレーションで、使用状況を直感的に確認できる、スマートで心地よい操作性に、見た目の美しさと堅牢さを兼ね備えたデザインです。

味わいを進化させる 新発想の加熱技術“HEATFLOW®”

緻密な加熱温度コントロールに加え、空気の流に着目した新技術“HEATFLOW®”を搭載し、JTの従来モデルに比べ、吸い応えが向上しました。たばこスティックは、“HEATFLOW®”と相性の良いブレンドを追求し、テクノロジーと熟練のブレンド技術を融合することで、たばこ葉の風味と豊かな香り、吸い終わった後も広がる余韻を、より上質にお楽しみいただけます。

※“HEATFLOW®”は、JTの登録商標です

あなたの個性に寄り添う 豊富なフロントパネル

デバイス本体に装着されているフロントパネルは、マグネット式で簡単に着脱が可能です。フロントパネルは、豊富な7色のカラーバリエーションを展開

しており、あなたらしい個性に合わせ、お好みのデザインにカスタマイズいただけます。

※ デバイス本体と同色のフロントパネルは、スターターキットに付属しています。なお、付属品以外のフロントパネルは、各980円(税込)で別売りです

Bluetooth® 接続で実現する 新たなスタイル

Bluetooth®通信機能により、お手持ちのスマートフォンにて、デバイス本体のLED表示よりも詳細な数値で、バッテリー残量をご確認いただけます。デバイスロック機能を用いると、デバイスとスマートフォンを接続している場合のみ、加熱をスタートすることが可能。また、スマートフォンとデバイスを最後に接続した場所を確認することができるため、紛失時にデバイスを探すことができます。

※ Bluetooth®機能の使用には、対応ブラウザのインストールや「Ploom X CLUB」内でのデバイス登録が必要です。詳細は<https://ploom-x-club.clubjt.jp/>をご確認ください



JTグループ初の人権報告書を発行

JTグループは、2021年6月、「JTグループ人権報告書」(英文)を発行しました。本報告書は、企業の人権尊重に関する国際的ガイドラインである「ビジネスと人権に関する国連指導原則」の発行10周年を機に、JTグループにおける人権尊重への姿勢やこれまでの取り組みを包括的にまとめたもので、人権に特化した初めての報告書となります。

JTグループにとって人権の尊重は、経営理念である「4Sモデル」に基づいた事業活動を行う上で不可欠な要素であり、サステナビリティ戦略における3つの基盤の一つに位置づけています。2016年には「JTグループ人権方針」を制定し、これに基づきこれまでさまざまな人権課題に積極的に取り組んできました。

今回発行した報告書では、方針に基づいた人権デュー・ディリジェンス*のアプローチやJTグループの9つの顕著な人権課題(児童労働、強制労働、公正な賃金、差別、ハラスメント/ジェンダー、労働安全衛生、長時間労働、環境影響、健康リスク)を軸とした具体的な施策などについて包括的に紹介しています。

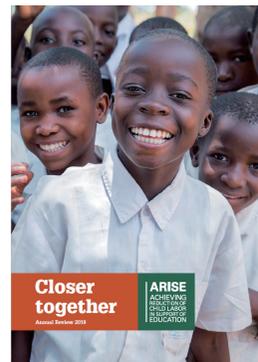
例えば顕著な人権課題の一つである児童労働は、児童に労働を強いること、とりわけ教育機会を奪うことは容認されてはならないとの考えから、JTグループはこれまでも葉たばこ産地における児童労働の防止・撲滅に向けてARISE(Achieving Reduction of Child Labor in Support of Education)プログラムや、耕作労働規範プログラムなどを実施してきました。その概要についても、本報告書で紹介しています。

加えて、2020年以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響が継続する中、JTグループは従業員やその家族、および社外のステークホルダーの皆様の安全を最優先するとともに、新しい働き方に迅速かつ柔軟に対応しており、その内容についても言及しています。

全てのステークホルダーの人権を守りながら事業運営を行っていくことは、企業が社会的責任を果たし、持続的に発展していく上で極めて重要と考えています。本報告書を発行することで、これまでの取り組みの成果を振り返るとともに今後の課題をあらためて整理・認識する機会とし、引き続き人権尊重への取り組みを積極的に推進してまいります。



JTグループ人権報告書



ARISE年次報告書

* 人権デュー・ディリジェンスとは、企業が人権への影響を特定、防止、軽減する一連のプロセスを指す

「健康経営優良法人 ホワイト500」に 5年連続で認定

JTは、2021年3月4日、経済産業省と日本健康会議が共同で実施する「健康経営優良法人2021 ホワイト500」に認定されました。

「健康経営優良法人2021 ホワイト500」とは、従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる大規模法人を認定する制度です。

このたびの認定は、これまでの継続した「健康経営」の取り組みに加え、新型コロナウイルス感染症拡大の環境下においても、必要な対策を徹底しつつ事業活動を継続するとともに「新しい働き方」へ積極的に取り組んできたことを評価いただけたと考えております。

今後も、従業員の健康増進を重要な経営課題と位置づけて、積極的に取り組んでまいります。



2021
健康経営優良法人
Health and productivity
ホワイト500

株主優待における寄付についてのご報告

JTでは、株主優待商品の贈呈に代えて、その相当金額を、東日本大震災、熊本地震の復興支援、また今後の台風や豪雨災害などに対する支援を目的とした「災害復興支援に対する寄付」としてお選びいただける選択肢をご用意しております。

今回、2020年12月31日現在の株主様を対象とした株主優待においては、4,022名の株主様にご選択いただき、その合計金額19,474,000円を2021年6月30日に社会福祉法人中央共同募金会「赤い羽根『災害ボランティア・NPO活動サポート募金』(ボラサポ)」へ寄付いたしました。

ご協力いただきました株主の皆様に、厚く御礼を申し上げます。

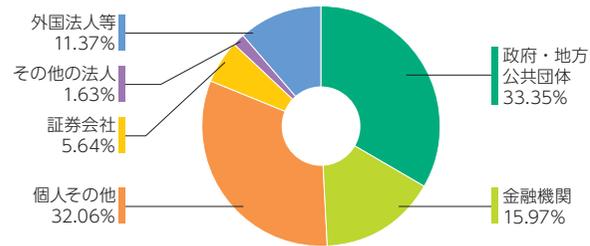


会社概要

商号	日本たばこ産業株式会社	設立	1985年(昭和60年)4月1日
本社所在地	〒105-6927 東京都港区虎ノ門四丁目1番1号 TEL.(03)6636-2914(代表) https://www.jti.co.jp/	資本金	1,000億円

株式の状況 2021年6月30日現在

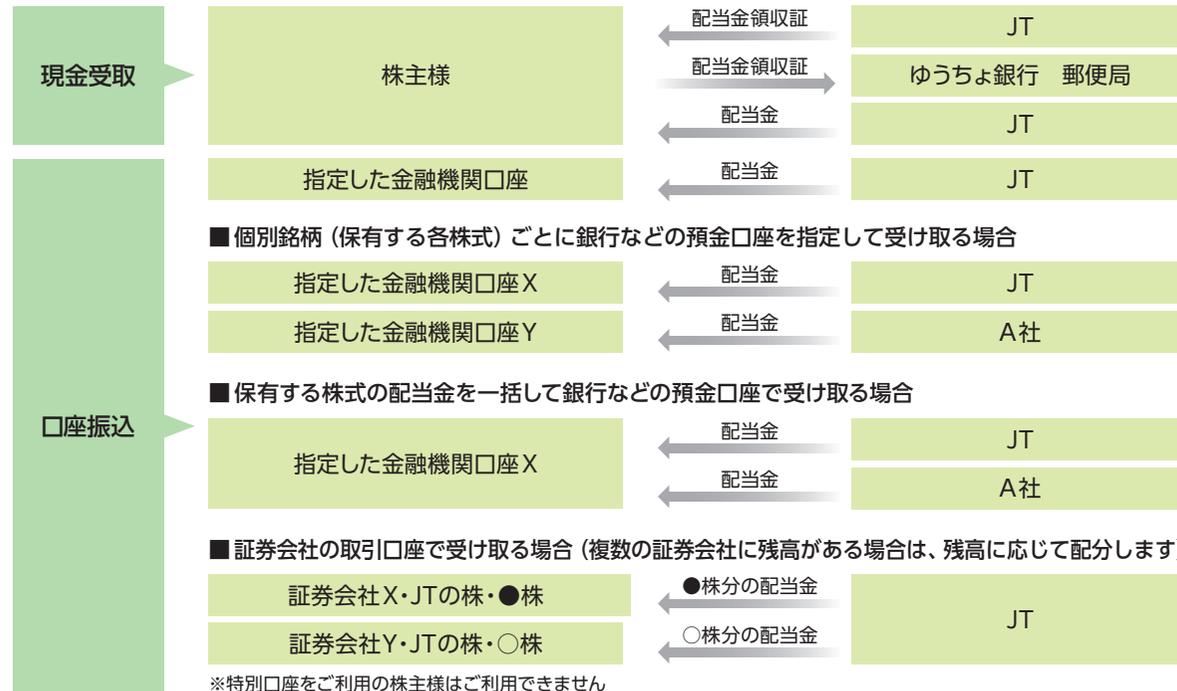
所有者別構成比



発行可能株式総数	8,000,000,000株
発行済株式の総数	2,000,000,000株 (自己株式 225,479,825株)
株主数	656,680名

配当金のお受け取り方法

口座振込をご選択いただきますと安全かつ確実に配当金をお受け取りいただけます



株主メモ

決算期 12月31日 定時株主総会 3月

期末配当金支払株主確定日 12月31日 中間配当金支払株主確定日 6月30日 1単元の株式数 100株

公告の方法 電子公告
当社ホームページ (https://www.jti.co.jp/) に掲載
※やむを得ない事由により、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載

株主名簿管理人・特別口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社
■事務取扱場所
東京都千代田区丸の内1-4-5
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

■お問い合わせ先
東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-232-711 (平日9:00~17:00)

■郵便物送付先
〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

株式の諸手続きについて

証券会社でお取引をされている株主様

【お手続き、ご照会内容】

- 届出住所・氏名などの変更
- 配当金の受取方法・振込先の変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 証券会社にて株式を管理されている株主様のマイナンバーのお届け出※

など

口座を開設している証券会社

- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 書類が届かない/配当金領収証の紛失などのトラブル

など

三菱UFJ信託銀行株式会社

特別口座をご利用の株主様

【すべてのお手続き、ご照会、お問い合わせ】

- 届出住所・氏名などの変更
- 配当金の受取方法・振込先の変更
- 単元未満株式の買取・売渡(買増)請求
- 郵便物の発送/返戻に関すること
- 支払期間経過後の配当金
- 証券会社とのお取引がない株主様のマイナンバーのお届け出※
- その他、株式事務に関する一般的なお問い合わせ

など

お問い合わせ先

東京都府中市日鋼町1-1
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
☎0120-232-711(平日9:00~17:00)

郵便物送付先

〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

※市区町村から通知されたマイナンバーは株式の税務関係の手続きで必要となりますので、株主様におかれましては、お取引のある証券会社などへマイナンバーをお届けください